

◆ 降灰の可能性マップ

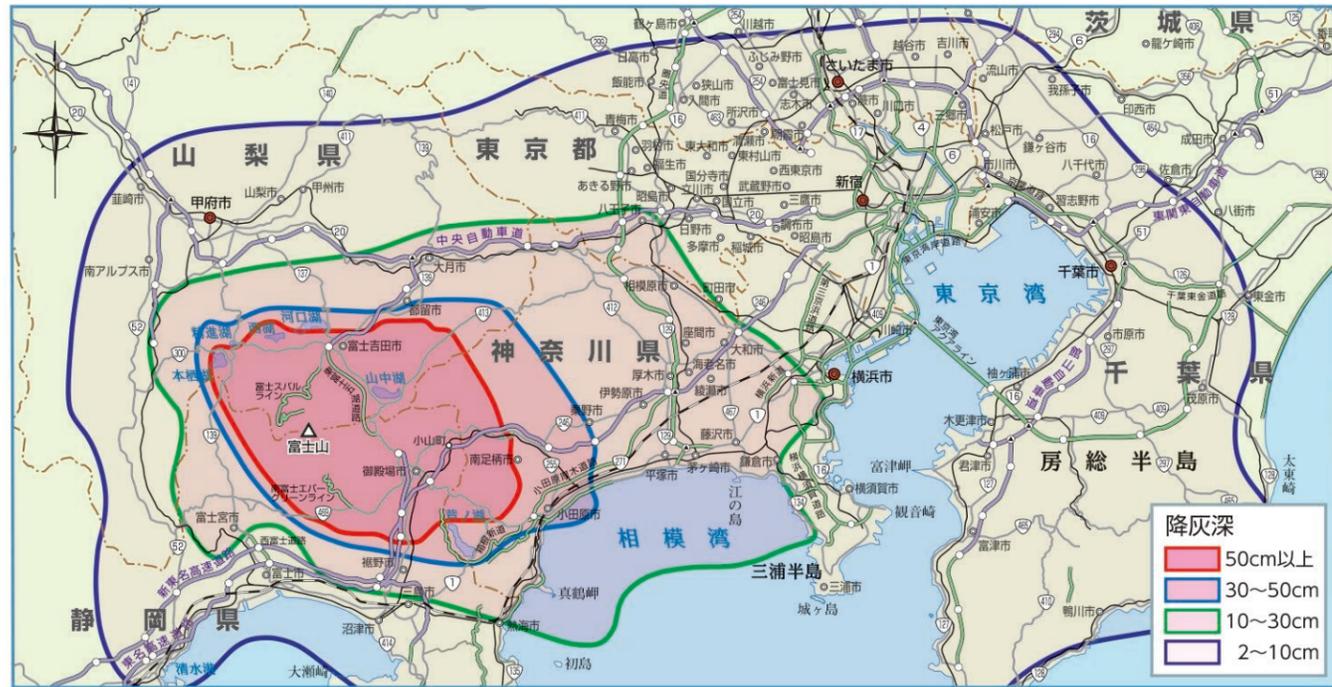
◆ 火山灰や軽石を出す大規模な噴火の場合、広い地域に影響を及ぼします。

季節によって風向が変わるため、火山灰の到達範囲は変わります。

降灰の可能性マップはすべての季節を重ねて描いているため、実際の降灰範囲は異なる場合があります。

◆ 降灰があった時の避難について

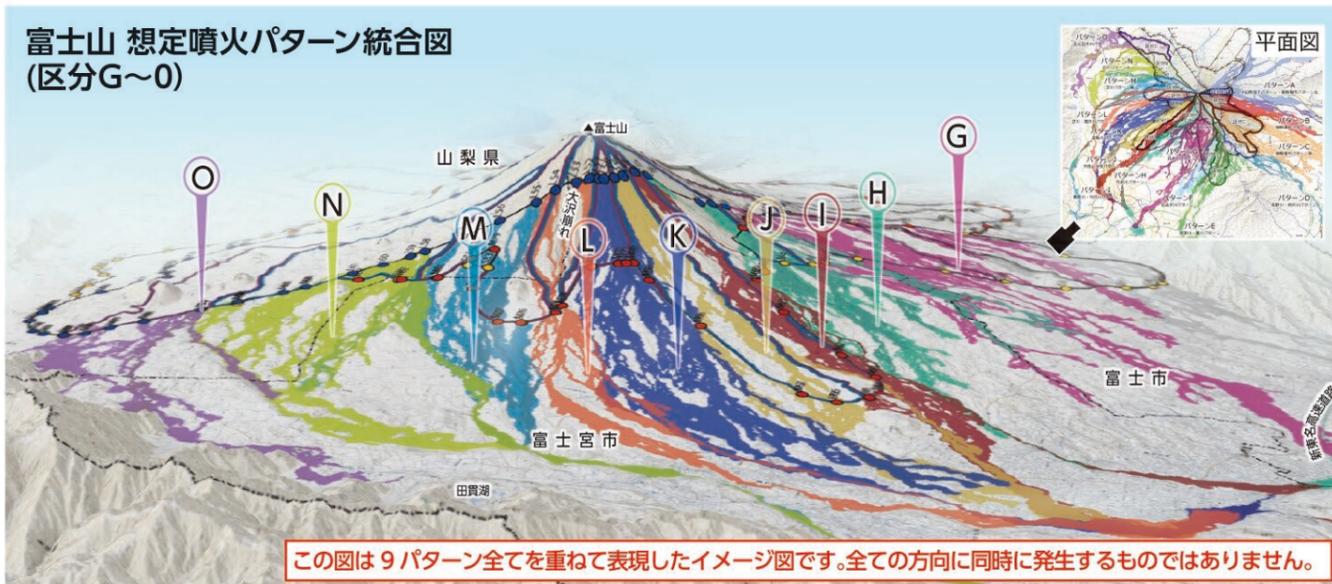
- 火砕流や溶岩流、建物の倒壊等による命の危険がない場合、自宅や堅牢な建物内での屋内避難が原則です。
- 外に出るときはヘルメットやマスク・ゴーグルを着用しましょう。
- 家は窓を閉めて密閉します。木造家屋では屋根に30cm以上の灰が積もると、建物が壊れることがあります。



◆ 富士宮市に関わる溶岩流の流下パターン

富士山は、火口ができると予想される範囲が広いので、様々な場所で噴火した場合の溶岩流下シミュレーションを行い、その結果を公表しています。

流下パターンは、このシミュレーション結果を、流下してくる方向(川)ごとにA~Oの15パターンに区分したもので、このうち富士宮市に影響するものは、9パターン(G~O)あります。



◆ 富士宮市の溶岩流 流下パターン図

